

血液・膠原病内科 臨床研修プログラム

1. 目標

包括目標(Goal)

1. 初期研修においては、全人的診療に必要な内科全般にわたる考え方と技術を身に着けることを目標とする。血液内科の専門的な検査や治療の修得においては、ほぼすべての診療科において経験する抗がん剤治療の基本、免疫不全状態の患者の管理に関する知識と技能を習得する。
2. リウマチ性疾患を対象とした基本的診察技能を用いて、検査、診断、治療計画、患者への説明と同意取得を上級医の指導の下に実施することができる。

個別目標 (Objectives)

1. 血液内科における基本症候（発熱・貧血・リンパ節腫脹・出血傾向）をきたした患者の診察を行い鑑別が挙げられる。
2. 末梢血液の異常値・形態異常を理解し、鑑別が挙げられる。
3. 骨髄穿刺・骨髄生検の適応と合併症に習熟し、上級医の指導の下で実施する。
4. 腰椎穿刺の適応と合併症に習熟し、上級医の指導の下で実施する。
5. 中心静脈ライン確保の適応と合併症に習熟し、上級医の指導の下で実施する。
6. 急性白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・再生不良性貧血・免疫性血小板減少症の主治医として、検査・標準治療について計画を立てることができる。
7. 輸血療法の適応と副作用を理解し、適切な輸血療法が実施できる。
8. 抗癌剤の適応・投与方法・副作用・副作用マネージメントに習熟し、上級の指導の下で適切に実施できる。
9. 発熱性好中球減少症への対応を中心に、顆粒球減少時の対応ができる。
10. 自家・同種造血幹細胞移植を経験する。
11. 腫瘍緊急症の対応について修得する。
12. 緩和医療の適応、医療麻薬の適正使用について理解する。
13. リウマチ性疾患の診断に必要な問診を実施し、カルテに記載することができる。
14. リウマチ性疾患に特有の身体所見を診察し、その所見をカルテに記載することができる。
15. リウマチ性疾患の診断・重症度判定に必要な検査を計画し、その結果を判定することができる。
16. リウマチ性疾患を診断し、その重症度・合併症を把握することができる。
17. リウマチ性疾患の治療方針を計画することができる。
18. 患者・家族に診断と重症度、合併症、予後、治療の効果と副作用について説明し、患者の意見を理解した上で治療の同意を得ることができる。
19. リウマチ性疾患の治療の効果を判定し、副作用の出現に注意し、また副作用に対処することができる。

血液・膠原病内科 臨床研修プログラム

2. 方略

1. モーニングカンファレンスおよび火曜日の症例検討会において、担当患者のプレゼンテーション、病態のアセスメント、治療方針の提案を行う。
2. 担当患者の毎日の問診、診察から患者の問題点を抽出し、解決法について検討する。
3. Up to Date の利活用について習熟する。
4. 担当患者の検査計画・見学・補助・実施
5. 担当患者の治療計画・実施
6. 担当患者・家族への説明と同意取得
7. リウマチ性疾患に特異的な診察手技(関節診察法, 皮膚所見など)の習得
8. 関節エコーの見学・上級医指導の下に実施
9. 関節穿刺の見学
10. Saxon test, Schirmer test の実施
11. 口唇腺生検の見学・上級医指導の下に実施
12. 筋生検の見学
13. Capillaroscopy による爪郭部毛細血管の所見

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
集合時間	8:30	8:30	8:30	8:30	8:30
場所	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟
午前	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ
	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
午後	病棟業務 多職種合同移植カンファレンス	病棟回診・症例検討会・医局会	病棟業務	病棟業務	病棟業務
夕方		抄読会・予演会		膠原病カンファ・回診	

病棟：B棟8階，その他共通病床

医局：ヒトレトロウイルス学共同研究センター（鹿児島大学キャンパス） 1階

3. 評価

1. EPOC2で評価（形成的評価）
2. カンファレンス報告
3. 退院サマリー
4. 指導医（指導医養成講習会を受講した医師）

石塚賢治，吉満 誠，秋元正樹，林田真衣子，中村大輔